

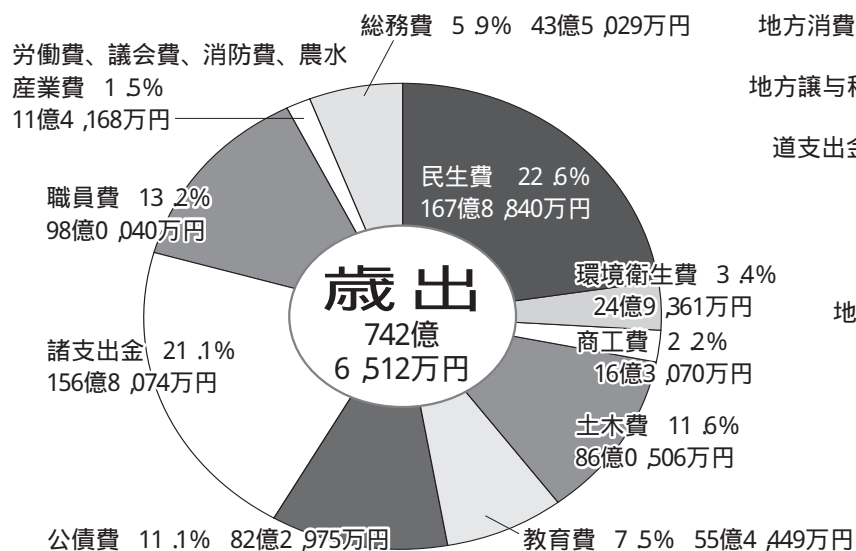
市民一人あたりの
決算額

市税負担額
166,334 円(1,121 円増加)
使われた経費
427,859 円(55,603 円増加)

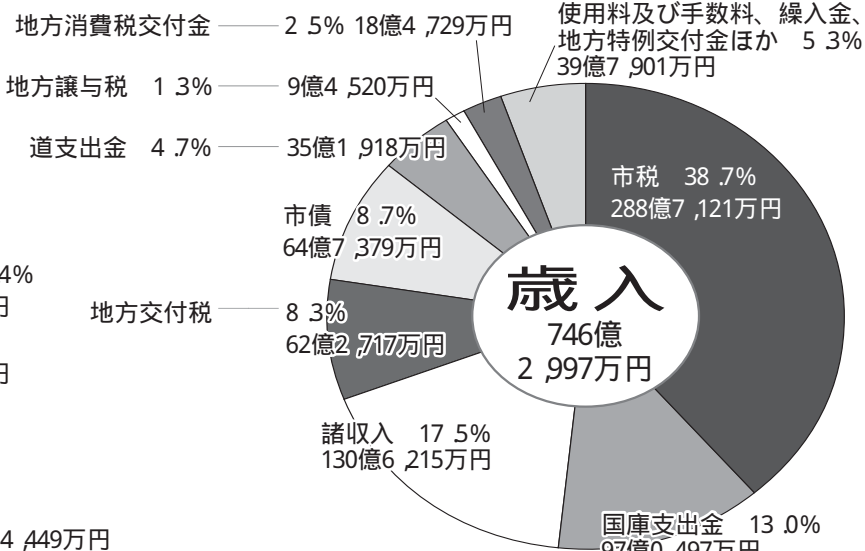
主な内容

- 扶助費 [福祉の充実に]
85,223 円(2,448 円増加)
- 人件費 [職員の給与などに]
53,184 円(1,695 円減少)
- 公債費 [借入金の返済に]
46,063 円(126 円減少)
- 投資的経費 [施設建設などに]
45,006 円(18,334 円増加)

金額は一般会計の決算額を平成21年3月31日現在の人口173,574人で割ったもの。()は対前年度比



これは、国からの地方譲与税、地方消費税交付金などが減少しているものの、地方交付税が4億5千926万円(8.0%)増、また、歳入の根幹である市税が、家屋の新増築や滞納繰越分の徴収増によって2億615万円(0.7%)増となったことによるものです。歳出のうち、臨時事業費は総額23億5千162万円、今後のまちづくりに必要な事業である道路、公園の建設・改修をはじめ、旧市立総合病院南棟改修事業、青翔中学校校舎新築事業や学校改修事業、雇用創出対策事業、障害者自立支援対策推進事業などを実施しました。また、毎年度経常的にかかる経費については、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加や景気後退による扶助費の増加となっています。



一般会計は私たちの生活に密着した福祉の増進や安全の確保、教育・文化の振興、ごみ処理や道路・公園の維持整備など、市政の基本となる会計です。歳入(年度中の収入)の総額は746億2千997万円、前年度に比べ95億1千185万円(14.6%)増加しました。歳出(年度中の支出)の総額は742億6千512万円、前年度に比べ96億7千728万円(15.0%)増加し、差引額3億6千485万円の黒字になりました。

一般会計の決算状況

平成20年度の決算の結果は、財政健全化法に基づく四指標(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)のいずれも早期健全化基準を下回りましたが、資金不足比率では1会計で経営健全化基準を上回るなど、依然として厳しい財政状況が続いています。各会計の決算概要をお知らせします。

詳細 財政課 (32)6212

決算状況

特別会計の決算状況

国民健康保険事業
累積赤字額が前年度より4億7千127万円減少し、6億9千409万円になりましたが、依然として厳しい運営状況が続いています。決算の赤字分は、平成21年度からの繰上充用金を充てました。
老人医療
決算の歳入未済分は平成21年度からの繰上充用金を充てました。平成20年度から、後期高齢者医療制度の開始に伴い、本会計は老人保健制度に係る20年3月診療分の医療費などと過誤調整分のみとなり、19年度に比べ会計の規模は激減しました。
沼ノ端鉄北土地区画整理事業
決算の赤字分は、平成21年度からの繰上充用金を充てました。
職員退職手当基金
定年や勤奨などによる退職者108人

と普通退職者40人に総額27億8千291万円の退職金を支給しました。
霊園事業
平成20年度は136区画を造成しました。
介護保険事業
6千346万円を次年度へ繰り越しました。
後期高齢者医療
歳入歳出ともに13億1千914万円でした。

特別会計決算一覧

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	165億6,267万円	172億5,676万円	6億9,409万円
老人医療	16億1,240万円	16億2,476万円	1,236万円
沼ノ端鉄北土地区画整理事業	7億6,094万円	29億7,378万円	22億1,284万円
職員退職手当基金	27億8,291万円	27億8,291万円	-
霊園事業	9,412万円	9,412万円	-
介護保険事業	80億4,751万円	79億8,405万円	6,346万円
後期高齢者医療	13億1,914万円	13億1,914万円	-
合計	311億7,969万円	340億3,552万円	28億5,583万円

企業会計の決算状況

水道事業
新設事業では勇払地区などへの配水管布設や、錦多峰浄水場に配水コントロール施設遠隔設備などを新たに設置しました。また、改良事業では老朽化した配水管の布設替えや、

院除却費の計上があったため、収益的収支は13億8千749万円の赤字で、消費税と地方消費税を整理した純損失は13億8千652万円でした。
土地造成事業
錦西ニュータウン、ウトナイ地区

錦多峰浄水場の中央監視制御設備の更新工事などを行いました。収益的収支は4億8千641万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は4億3千207万円でした。
下水道事業
植苗地区の汚水管を整備し、水洗化便所普及率99.5%になりました。また、桜木・清水・明野・勇払地区などの浸水対策として、雨水管を整備しました。市中心部では平成19年度に引き続き、合流式下水道改善事業を進めています。収益的収支は4億7千208万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は4億1千852万円でした。

などを分譲し、収益的収支は3億2千550万円の純利益を計上しました。
市営住宅事業
明徳団地で3階建て1棟(36戸)と駐車場の完成、3階建て1棟(24戸)の建替事業に着手し、東開町団地に90台の駐車場を整備しました。収益的収支は2千891万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は2千772万円でした。

自動車運送事業
車両の老朽化対応のため、中古乗合車両を5台購入したほか、バス待合所を2棟建て替えました。また、高齢者を対象とした割引制度などの継続的な実施により、年間輸送人員で394万3千人の利用がありました。前年度より6万5千人の減少となりました。収益的収支は3千77万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は3千5万円でした。
市立病院事業
病棟看護の充実による患者サービス向上と経営基盤強化のため、看護体制に移行した結果、診療単価の増加が図られたことを要因として、病院事業収益は前年度比5億4千279万円の増となりました。一方、費用に

公設地方卸売市場
低温流通センターを一部改修し、機能強化を図りました。収益的収支および消費税と地方消費税を整理した純利益は1千985万円でした。

企業会計決算一覧

会計名	収入	支出	差引
水道事業	31億1,180万円	26億2,539万円	4億8,641万円
下水道事業	7億7,468万円	19億8,943万円	12億1,475万円
自動車運送事業	40億4,948万円	35億7,740万円	4億7,208万円
市立病院事業	26億0,162万円	44億3,437万円	18億3,275万円
土地造成事業	15億2,955万円	14億9,878万円	3,077万円
市営住宅事業	2,921万円	4,383万円	1,462万円
公設地方卸売市場事業	83億9,835万円	97億8,584万円	13億8,749万円
合計	16億2,971万円	10億0,550万円	6億2,421万円
水道事業	6億1,913万円	2億9,363万円	3億2,550万円
下水道事業	-	8,542万円	8,542万円
自動車運送事業	16億6,691万円	16億3,800万円	2,891万円
市立病院事業	9億0,120万円	12億0,573万円	3億0,453万円
土地造成事業	1億5,243万円	1億3,258万円	1,985万円
市営住宅事業	1,596万円	5,053万円	3,457万円
公設地方卸売市場事業	195億2,765万円	195億5,162万円	2,397万円
合計	59億5,238万円	88億1,481万円	28億6,243万円